

定例記者会見資料



○日 時	平成23年3月9日（水） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・ モントレー国際大学との交流協定締結 . . . [資料1]・ 第8回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会の開催 . . . [資料2] <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・ おはなしレストランライブラリーのオープン（一般開放） . . . [資料3]
○資料提供項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成22年度学生表彰（島根県立大学学長賞） . . . [資料4]・ 地域ボランティア活動表彰 . . . [資料5]・ 島根県立大学 卒業証書授与式・大学院学位記授与式 . . . [資料6]・ 島根県立大学 入学式・大学院入学式 . . . [資料7]・ 平成23年度島根県立大学一般選抜後期日程試験の実施及び取材について . . . [資料8] <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成22年度学生表彰（島根県立大学短期大学部学長賞） . . . [資料9]・ 平成23年度前期科目等履修生・聴講生の出願・選考について . . . [資料10]・ 島根県立大学短期大学部卒業証書・学位記授与式 . . . [資料11]・ 島根県立大学短期大学部入学式 . . . [資料12] <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 平成22年度学生表彰（島根県立大学短期大学部学長賞） . . . [資料13]・ 島根県立大学短期大学部看護学科卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式 . . . [資料14]
行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <p>3月12日（土）・13日（日） 一般選抜（後期日程）試験</p> <hr/> <p>【松江キャンパス】</p> <hr/> <p>【出雲キャンパス】</p>

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

資料提供：平成 23 年 3 月 9 日
担当
島根県立大学交流研究課 島田
TEL 0855-24-2201

モントレイ国際大学との交流協定締結について

島根県立大学は、開学した平成 12 年にアメリカのモントレイ国際大学と交流協定を締結（平成 18 年 3 月に更新）し、本学開催の国際シンポジウムに同大学の研究者を招いたり、10 年にわたり本学学生の異文化理解研修を受け入れていただくなど、交流を深めてまいりました。

この度、交流協定の有効期限（5 年）を迎えることから、下記のとおり通算 3 回目となる協定の締結（更新）を行いました。

なお、モントレイ国際大学の概要及び本学との交流実績は、別紙のとおりです。

記

- 1 協定締結日 平成 23 年 3 月 17 日（火）
- 2 協定の内容 別紙参照
- 3 協定調印者 島根県立大学：本田 雄一 学長
モントレイ国際大学：Sunder Ramaswamy 学長
- 4 調印方法 両大学の学長がそれぞれの大学でサインを行った協定書を交換
3 月 1 日（火）、本学の教職員がモントレイ国際大学を協議で訪れた際、本田学長サイン済の協定書を手渡し、後日ラマスワミ学長のサインの入った協定書を受け取り、持ち帰った～3 月 5 日（土）帰国。

モントレイ国際大学の概要及び本学との交流実績

【概要】

モントレイ国際大学 (Monterey Institute of International Studies) は、1955年に創設された私立の大学で、アメリカ西海岸、カリフォルニア州モントレイ市にある。

4分野 (国際政策学、翻訳・通訳学、言語教育学、国際ビジネス学) の大学院で構成され、国際政策、国際環境政策、国際貿易政策、国際行政学、翻訳、会議通訳、英語教授法、外国語教授法、経営学 (MBA) などの修士号を取得することができる。全米で初めて同時通訳者の養成プログラムを持った大学院大学であり、少人数による語学と専門領域の融合を教育の特色としている。

アメリカ国外からの留学生も多く、2010 (2008) 年の在學生 757 (860) 名の内、29% (40%) が、26 (33) の母国語を持つ 38 (61) の国からの留学生であった。

大学の建物は町の中心部にあった既存の家屋等を購入し活用したものであり、キャンパスと町が一体化している。「怒りの葡萄」「エデンの東」などで有名な文豪スタインベック (1902～1968) が小説「パール」を書き上げた建物も学内に残っている。

モントレイは、サンフランシスコとロサンゼルス の中間に位置する太平洋に面した町で、ジャズ・フェスティバルの町、リゾート地としても有名。全米有数の水族館もある。

○参考ホームページ：大学 <http://www.miiis.edu/>

町 [http://en.wikipedia.org/wiki/Monterey, California](http://en.wikipedia.org/wiki/Monterey,_California)

【交流実績】

- ・H12 (2000) 年：本学の開学記念シンポジウムに同大学から1名が参加 (9月)
- ・H15 (2003) 年：本学で開催した国際シンポジウム「海への挑戦ー海洋国家からの創造ー」に同大学から3名が参加 (10月)
- ・H13～22 (2001～2010) 年：本学学生が異文化理解研修 (約4週間) で同学を訪問 (8月)

【今後の交流の方向性】

・従来、異文化理解研修は英語 (語学) とアメリカ文化の研修が中心であった。今後は就業力の育成・強化を図るため、国際的な経済感覚や政策立案能力も身に着くような研修プログラムをモントレイ国際大学の協力を得ながら開発していきたい。

島根県立大学とモントレイ国際大学との 交流に関する協定書

島根県立大学とモントレイ国際大学は、2006年3月17日に締結した交流協定書に基づき、相互に交流を深めてきたが、これまでの交流の成果を生かし、次のとおり合意する。

1. 島根県立大学とモントレイ国際大学は、日本国とアメリカ合衆国との間の相互理解と友好親善を増進させるため、両大学において、学生、教員、職員の交流を積極的に促進する。
2. この協定は、島根県立大学学長及びモントレイ国際大学学長による署名の後その効力を生じ、5年毎に更新することができる。

2011年3月17日

島根県立大学学長

モントレイ国際大学学長

本 田 雄 一

Sunder Ramaswamy

『英語研修・文化体験プログラム』に関する 島根県立大学とモントレイ国際大学との協定書

島根県立大学とモントレイ国際大学とは、2011年3月17日調印の両大学間の交流に関する協定書に基づき、次の事項について合意する。

1. モントレイ国際大学は、毎年夏に行われる島根県立大学の学生のための『英語研修・文化体験プログラム』（以下『プログラム』という。）の実施に協力する。
2. このプログラムは、毎年8月に4週間実施する。島根県立大学の学生数は、30名程度を基本とし、毎年両大学が協議してこれを決定する。
3. このプログラムは、モントレイ国際大学における英語教授のほか、ホームステイ、モントレイ周辺地域における史跡・催し物の見学等、学生の豊かな文化体験を目指す学内・学外における諸活動を含むものとする。
4. 島根県立大学は、授業料その他、このプログラムを開発・実施するにあたり必要な諸経費をモントレイ国際大学に支払う。
5. この協定は、島根県立大学学長及びモントレイ国際大学学長による署名の後その効力を生じ、5年毎に更新することができる。

2011年3月17日

島根県立大学学長

モントレイ国際大学学長

本 田 雄 一

Sunder Ramaswamy

「第8回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会」
奨励賞受賞者一覧

1. 総合政策学部生

氏名	卒業研究・論文名
アマノ タカヤ 天野 卓哉	たたら製鉄とまちづくり
アリフク ケンタ 有福 健太	島根県益田市匹見町における農産物の 流通方法と地域のPRについて
インカワ カオリ 石川 香織	地域と大学との連携・協働 －島根県立大学の学生による活動と課題－
★ ウエモト タカユキ 植本 高行	山口県大島郡周防大島町における産業振興 －超少子高齢化社会を迎える島の新たな挑戦－
オオハラ ショウタ 大原 翔太	街おこしとなる地域ブランドの可能性 －島根県大田市を事例として－
★ カワサキ アヤネ 川崎 綾音	レジ袋削減対策は環境意識の向上に寄与するのか －島根県四市の取り組みを事例に－
カワダ マナミ 河田 真菜実	益田市の地域資源を活かした知名度向上の可能性
タカハシ マリナ 高橋 まりな	島根県の観光による地域活性化の現状と課題
ツチエ カズヤ 土江 策也	「島根県経済の現状と活性化の課題－ 石見銀山に焦点をおいて－」
★ ナカムラ アツシ 中村 睦	浜田市のごみ問題について －分別収集のあり方と市民意識の向上－
★ ナベカ マサカズ 並河 真和	離島における地域活性化
★ ニシカワ アキリ 西川 明教	地域密着型金融を考える －リレーションシップ・バンキングと地域貢献
ミタニ タカアキ 三谷 貴章 マタカ ヒトミ 又賀 瞳 タケムラ ショウヘイ 竹村 昭平	映像表現媒体を用いた県内観光スポットの探求とその作品化 及び伝達手段の研究【文書と映像作品】（共同研究制作）
ユズリハミキ 杠 美季	出雲の遺跡保管の現状 －弥生時代の代表的な遺跡－
ヨシモト ユウミ 吉本 ゆう美	別子銅山における産業遺産保護の現状 －あかがねの里を訪ねて－

2. 大学院生(北東アジア研究)

オウ レイ 王 磊	中国浙江省義烏市における産業集積の形成と発展 －雑貨産業を中心に－
--------------	--------------------------------------

★ 発表予定者(5名)
表彰者18名(16本)

第8回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会の開催について

1. 目的

今春島根県立大学学部卒業生、大学院修了生が、地元の皆様のご支援により4年間（あるいは2年間）の学生生活を終え、卒業することになりました。この間に多くの学生が、地域において勉強し、住民の皆様にご指導いただきました。

卒業する学生が作成した卒業研究論文には、地域振興や地域活性化に関するテーマが多く取り上げられています。研究論文の作成にあたり、これまでご支援・ご指導いただいた地域の皆様へ感謝の気持ちを込めて発表会を開催いたします。

2. 日時

3月17日（木） 15:00～17:30

※15時より30分程度表彰式を行います

3. 場所・会場

島根県立大学 講義研究棟 大講義室1

4. 主催

島根県立大学

5. 後援

浜田市

6. 発表内容

5本予定

山口県大島郡周防大島町における産業振興-超少子高齢化社会を迎える島の新たな挑戦-
レジ袋削減対策は環境意識の向上に寄与するのか-島根県四市の取り組みを事例に-
浜田市のごみ問題について-分別収集のあり方と市民意識の向上-
離島における地域活性化
地域密着型金融を考える-リレーションシップ・バンキングと地域貢献

7. 参加申込等

どなたでも参加いただけます。事前申し込み不要、参加無料です。

8. これまでの経緯や特徴など

本学は平成12年に開学いたしましたが、その第一期生を送り出した平成16年からこの発表会を開催し、今年で8回目を迎えます。

平成19年度からは、浜田市のご後援をいただき、優秀な卒業論文に対しては、浜田市長賞が授与されています。

平成 23 年 3 月 9 日
 島根県立大学
 浜田キャンパス教務学生課
 担当：岩本、山本
 電話：0855-24-2213

平成 22 年度学生表彰

「島根県立大学賞」の授与について(浜田キャンパス)

1 趣 旨

島根県立大学賞は、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の模範となる活動を行い、又は優秀な成果を挙げた島根県立大学の学生（個人又は団体）に対して、表彰するものである。

なお、この島根県立大学賞には、次の 5 部門を設けている。

(1) 学術部門 (2) 芸術部門 (3) スポーツ部門 (4) 文化活動部門 (5) 社会活動部門

2 平成 22 年度受賞者 (9 組 13 名、3 団体)

(1)

受賞者氏名	4 年生 河合 祐以子
部門	社会活動
受賞理由	
<p>東京での高校生時代以来の活動である YEH（全国数カ所にまたがる学生を中心とする NGO 組織、国際組織はハンガー・フリー・ワールド）を、島根においてははじめて、本学を拠点として創設したリーダーである。2007 年に島根支部を創立し、本学のサークルとして認定したときは当初 5 名であったが、2010 年 12 月には 62 名に成長している。島根初の地域密着型 NGO 活動をめざして、献金活動のみならず、地域のさまざまなボランティア活動を組織・参加し、活発な活動を展開し続けている。この活動の積極的なメンバーであった平岡さんの事件に YEH 島根も大きな打撃を受けたが、河合は挫折することなくその遺志を受け継ぎ、さらに活動を再開・発展させてきた。YEH 島根は、本学開学以来この分野での本学内外にまたがる社会活動として、もっとも注目される社会的影響力をもつくらいに団体を発展している。</p> <p>以上の功績より受賞した。</p>	

(2)

受賞者氏名	4 年生 松永 優紀
部門	学術・文化活動・社会活動
受賞理由	
<p>2 年生のとき、2008 年度の学友会執行委員長として、学内活動の新企画・活性化をはかりつつ、浜田市と市民活動との連携・協働を目指した。NPO 法人浜っ子作業所との系統的な協力関係を築き、3 年次・4 年次にわたって学生ボランティアとして活動や里山レンジャーズ、ディベート・サークルの活動を牽引するなど多方面で活躍している。学園祭においては、本サークルの公開ディベートを各年にわたり開催し、またここでは政治経済問題を学生間で討議する「学生シンポジウム」も 2 年にわたり組織して開き、時代の課題と向き合う本学学生のレベルの高さを示した(テーマ事例「島根農業の未来」「食の安全を考える」等)。浜田市民と浜田市そして本学学生の協力による「浜田未来文化祭一扉の向こう」の企画運営にも携わった。</p>	

2010 年秋の本学開学 10 周年記念フォーラムでは、「卒業生・在校生リレートーク」の企画・総合司会を務めた。卒業記念（企画）委員会の有力メンバーでもある。
 こうした活動に並行して、学業成績が優秀であることも特筆される。
 以上の功績により受賞した。

(3)

受賞者氏名	4 年生 西川明教
部門	社会活動
受賞理由	
<p>弥栄の里山レンジャーズでは産直販売の中心メンバーとして活躍し、浜田市の福祉作業所である NPO 法人浜っ子作業所、さらに地域での日本語教育支援等の学生ボランティア活動に 1 年次より有力なメンバーとして参加、就職活動終了後の 2010 年度秋には新たに「農村カフェ」の立ち上げに参加し、リーダーとしても活躍した。「農村カフェ」は社会的コミュニティの形成に貢献している。</p> <p>また学内においても学友会執行委員（企画担当）を務め(2 年次)、また 3・4 年次には、海遊祭ではゼミナール生の活動を通じて地域社会との交流をいかにはかるかの報告会、特別展示を支えた。</p> <p>学内外にわたる活動の累積の功績は大きく、かつ学業成績も優秀である。 以上の功績により受賞した。</p>	

(4)

受賞者氏名	4 年生 石川香織 3 年生 丹後貴視 3 年生 富岡秀行
部門	社会活動
受賞理由	
<p>日頃から問題意識として大学と地域との連携・協働をいかに実現してゆくかを持ち、そうした自覚をもつ有数のリーダーとして、いくつかの本学学生活動に主体的に参加し、活動し続けてきた。</p> <p>2009 年秋の本学女子学生に関わる不幸な事件が起こってから、丹後貴視が「浜田のためにできることはないか」と、当時学友会会長であった富岡秀行に提案したことがきっかけで、再発防止や安全安心のまちづくり運動を展開され始めた。その中で、島根県立大学生、島根県立大学卒業生、浜田市民らとともに「浜田を明るく照らし隊」を設立した。この運動で中心的な役割を担っているのが、上記の 3 名である。</p> <p>「浜田を明るく照らし隊」では、安全安心のための会合だけではなく、門灯シールを作成したり、「あいさつ川柳」を市内の小中学生から募集したりと積極的な啓発活動を展開している。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>	

(5)

受賞者氏名	4年生 松並弘明
賞の部門	社会活動
受賞理由	
<p>1年次のときに本学の受託授業であった「国土施策創発調査事業」に参加したのち、平成20年からは「島根県立大学里山レンジャーズ」のメンバーとして、浜田市弥栄町における地域支援活動に従事してきた。2年次から3年次にかけては学生団体「しまえっこ」の部長を務め、当該学生団体を主導して、廃油からBDFを精製する取り組み、NPO法人アンダンテ21の「川がき講座」のスタッフなどに参加してきた。</p> <p>平成21・22年度には、本学の受託事業であった「中山間・水と土保全推進事業」の棚田ワークショップ業務に学生スタッフとして参加した。</p> <p>このように、当該学生の多方面にわたる社会活動は本学学生の模範になるものである。以上の功績により受賞した。</p>	

(6)

受賞者氏名	4年生 高見 実佳
賞の部門	文化活動
受賞理由	
<p>松江キャンパスからの編入生であり、編入後は短大部と総合政策学部の架け橋となった。平成21年6月に短大部で開催された「編入希望者向けOG懇談会」では、総合政策学部での大学生活を発表し、7月には短大部の学生を浜田に招いた英語の交流会でスピーチをした。また、7月と9月のオープンキャンパスでは編入を希望する学生の相談に乗った。オープンキャンパスに参加した短大部の学生全員が合格し、その中には、短大部時代のゼミの後輩2人が含まれていた。彼女が編入生の世話をする理由は、短大生として本学のオープンキャンパスに出た時、編入生が疎外されていることに疑問を感じ、「自分が編入生に向けた情報発信をしよう」と思い立ったからである。</p> <p>優れた英語コミュニケーション力のため、3年次編入にも関わらず、ゼミでの活躍は目覚ましく、他のゼミ生に大いに刺激を与えた。イエローカイト（合唱サークル）ではコーラスの経験を生かして、部のレベルアップに尽力した。2年間学生図書委員も務め、デザインセンスの良さを発揮して、図書の貸出数向上に貢献した。</p> <p>このように持ち前の問題意識と優れた能力とを生かして、編入生を勇気づけ、一般学生を刺激したことは、他の学生の模範となるものである。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>	

(7)

受賞者氏名	4年生 中尾 亮介
賞の部門	学術・文化活動・社会活動
受賞理由	
<p>学術では、英語の成績の向上が顕著で、TOEICは755点を取得し、卒業論文を英語で書き上げた。すでに履修済みの英語の授業にもう一度参加するなど、努力を重ねた。英語でのコミュニケーション意欲に溢れ、異文化理解研修、蔚山大学校やビクトリア大学との英語交流、英語キャンプに参加した。</p> <p>文化活動では、海遊祭実行委員会や運動会実行委員会に所属し、本学の学生生活の充実に貢献した。平成20年には海遊祭実行委員会を務めた時は、人通りの少なかった体育館前へのサブステージを設置や、松江や出雲のキャンパスの学生のためのバスを手配するなどの工夫を行い、海遊祭を成功に導いた。</p> <p>社会活動では、オープンキャンパスのスタッフやキャリアサポーターの活動や、中学校学習支援事業に従事するなど、多くのボランティア活動に参加した。</p> <p>学業、人格ともに優秀で、島根県立大学の活動に大きな貢献をしたことは、他の学生の模範となるものである。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>	

(8)

受賞者氏名	4年生 高橋 昌也
賞の部門	社会活動
受賞理由	
<p>入学時から韓国に強い興味を持っており、3年生の時には1年間蔚山大学校で学び、韓国についての知識を深めた。留学後も、在日大韓民国団島根県地方本部主催の「韓国語スピーチ&レバノンコンテスト」において、スピーチ部門の最優秀である特別賞を受賞したり、韓国社会について考察した卒業論文が優秀卒業論文にも選出されるなど高い評価を得ている。サークル活動では、「アンニョンハセヨ韓国文化研究クラブ」のリーダーを務めた。蔚山大学校日本語日本文化研修団来学の際にはチューターを務め、韓国人学生の日本語学習を支援した。</p> <p>学外の日韓の交流にも積極的に参加し、特に日韓文化交流基金・大韓国外交通商部共催の「日本大学生訪韓研修団」の団員に選抜されて参加し、学生の日韓交流に貢献した。</p> <p>以上のように、入学以来一貫して韓国に興味を持ち、交流活動を進め、学業においても、社会活動においても高い評価を得ており、他の学生の模範となるものである。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>	

(9)

受賞者氏名	北東アジア開発研究科2年生 王 磊 北東アジア開発研究科2年生 金 眞熙 北東アジア開発研究科2年生 李 郁
賞の部門	社会活動
受賞理由	<p>ロータリー米山奨学生となったことを契機として、ロータリークラブの人々と様々な交流活動を行うとともに、ロータリークラブが呼びかけているボランティア活動に参加した。</p> <p>3名は、月1回の各ロータリークラブの例会及び親睦会に参加し、地域の人々と交流を行っている。また、石見地区のロータリークラブにおいて、自らの研究活動について発表を行ったり、さらに、出身国に関するスピーチを行い、地域の人々が国際理解を深めるための重要な担い手となっている。みなロータリークラブの人々から高い評価を得ている。海岸清掃やアニマルセラピーなどのボランティア活動に参加しており、さらに、メンバーの人々と小旅行や野球観戦を通じた交流や、ロータリークラブメンバーの中国訪問を企画し、現地でのガイドを務めるなど、市民交流を進める架け橋として重要な役割を果たしている。</p> <p>以上のように、石見地域の人々との交流活動、ボランティア活動を継続的に行い、高い評価を得ており、他の学生の模範となるものである。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>

(10)

受賞者氏名	環境倶楽部「しまえっこ」
賞の部門	社会活動
受賞理由	<p>本年度も学内外でアダプト活動（ごみ拾い）を実施し、6月に開催された市内アダプトには、昨年に引き続き浜田市長も参加された。これらの活動が評価され、平成22年度浜田市市民憲章表彰を受けた。このほか、海遊祭では昨年に引き続き、ゴミの減量、リサイクル活動などを通じた環境配慮型学園祭の実施に取り組んだ。具体的には、模擬店で利用された廃油を回収してBDFに精製し、石見交通のバスに用いて頂いたり、模擬店で用いる皿を非木材紙トレイとし、環境に配慮を払った。非木材紙トレイは、昨年の反省を活かし、部活動費で購入した上で、模擬店側に無償で提供したため、使用率は昨年に比べ大幅に伸びた。その上、ゴミの収集にあたっては分別を徹底し、商品ゴミについては、コンポストを行った。本年度は部内で勉強会を行い、グループに分かれて環境についての知識を深めるなど学術的な面にも活動を広げた。</p> <p>これらの活動を通じて、学内外で環境問題に対する啓発活動を行うと共に、実際に行動を通じて環境にやさしい大学生活を送っている。多方面のメディアに取り上げられるなど、社会的にも評価されたことへの功績も大きい。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>

(11)

受賞者氏名	島根県立大学 弓道部
賞の部門	スポーツ
受賞理由	
<p>平成 22 年度鹿足郡弓道大会男子団体第 1 位、平成 22 年度津和野町弓道大会兼第 47 回木部弓道大会団体優勝など、さまざまな大会で常に上位を占め、特筆すべき成績を収めている。</p> <p>学生弓道会で最も権威ある「第 58 回全日本学生弓道選手権大会」にも出場を果たし、平成 19 年から 4 年連続で上記の大会に出場している。</p> <p>また、大会以外にも、各自が己の弓道の鍛錬を図るために積極的に昇段審査を受審し、技術の向上に日々鋭意努力した。弓道部は団体、個人のそれぞれにおいて、体育系クラブとして非常に活発な活動を行い、本学の盛名に寄与した。このような精進が、本学弓道部の県内外での躍進、高い成果を可能にした。</p> <p>そして、その弓道部の活躍は本学の他のクラブ、サークルの範となり、刺激となっている。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>	

(12)

受賞者氏名	学生キャリアサポーター
賞の部門	学術
受賞理由	
<p>就職が内定した 4 年生が学生キャリアサポーターに就任し、後輩の就職指導に当たっている。今年度は 28 名の 4 年生がサポーターに就任し、金融危機を発端として就職環境が急速に悪化する中、内定報告会や就職相談会の開催、担当ゼミでの指導などに積極的に取り組み、キャリアセンターが期待した以上の成果を上げた。</p> <p>今年度は新たな取り組みとして、「サポーター・企業研究会」を実施した。企業・業界研究が難しい環境の中で、サポーター自身の内定企業、業界を、学生の視点でわかりやすく説明してもらったとともに、3 年生の具体的な質問に対応してもらった結果、本学在校生によるキャリアサポート制度を大きく前進させた。</p> <p>以上の功績により受賞した。</p>	

3. 表彰式について

平成 22 年度卒業式にあわせて実施

日時：平成 23 年 3 月 18 日（金）

場所：浜田キャンパス講堂

4. 問い合わせ先

所属 島根県立大学浜田キャンパス教務学生課

電話：0855-24-2213 FAX：0855-23-7352

電子メール：kyoumu@admin.u-shimane.ac.jp

23年3月9日
島根県立大学
浜田キャンパス
交流研究課
担当者 岡崎
電話 24-2396

地域ボランティア活動表彰式の開催について

1. 目的

本学は島根県石見地域唯一の高等教育機関ということもあり、これまでも学生が地域ニーズを敏感につかみ取り、様々なボランティア活動に従事してきた。これが本学の特長であり、今後も伸ばしていきたい取り組みの1つである。そこで大学として、自主的、積極的にボランティア活動に取り組んでいる学生を評価し、今後も継続されるよう地域ボランティア活動表彰状を授与する。

2. 日時

平成23年3月17日（木）

第8回地域振興に関する提言を含む優秀卒業研究・論文の発表会の前に開催

3. 会場

島根県立大学 大講義室1（講義研究棟）

4. 表彰状授与対象者 8名

小川 慶典（カガリ ヨシノ）3年
荒木 拓也（アラキ タクヤ）3年
富岡 秀行（トミカ ヒデユキ）3年
澤江 彩佳（サエ アヤカ）2年
李 昊然（リ コウゼン）2年
山田 かおり（ヤマダ カオリ）2年
日高 美紀（ヒダカ ミキ）1年
牧草 美咲（マキグサ ミサキ）1年

平成 23 年 3 月 9 日
島根県立大学浜田キャンパス
総務課 三島・中村
TEL 0855-24-2200

島根県立大学 卒業証書授与式・大学院学位記授与式について

平成 22 年度の卒業証書授与式及び大学院学位記授与式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 23 年 3 月 18 日(金) 11:00～12:00 (卒業生入場 10:45 まで)

場 所 島根県立大学 講堂 (浜田市野原町 2433-2)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 卒業証書授与 (代表 1 名)
大学院学位記授与 (代表 1 名)
 - (3) 学長式辞
 - (4) 知事祝辞
 - (5) 来賓祝辞
 - (6) 卒業生謝辞
大学院修了生謝辞
 - (7) 島根県立大学賞授与
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・当日午前 10 時から関係資料を講堂受付にて配布します。

平成 23 年 3 月 9 日
島根県立大学浜田キャンパス
総務課 三島・中村
TEL 0855-24-2200

島根県立大学 入学式・大学院入学式について

平成 23 年度の学部入学式及び大学院入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 23 年 4 月 3 日(日) 11:00～12:00 (新入生入場 10:30 まで)

場 所 島根県立大学 講堂 (浜田市野原町 2433-2)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 学部入学許可宣言
大学院入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 知事祝辞
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 大学歌斉唱
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・当日午前 10 時から関係資料を講堂受付にて配布します。

平成 23 年 3 月 9 日
 島根県立大学アドミッション室
 (担当) 石飛、田中
 (電話) 0855-24-2203

平成 23 年度島根県立大学一般選抜後期日程試験の実施 及び取材について

1. 試験日程

3 月 12 日 (土)、13 日 (日)
 9:20~9:50 受験生入室
 10:00~10:30 注意事項説明
 10:30~ 個別面接
 ※12:40頃までには終了予定。
 12:20~12:50 受験生入室
 13:00~13:30 注意事項説明
 13:30~ 個別面接
 ※12日は17:05頃、13日は15:05頃までには終了予定。

2. 試験会場 島根県立大学 講義研究棟

3. 志願者数 438名

4. 試験内容 **個別面接**

(合否判定は、センター試験の成績と個別面接の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。)

5. 確定受験者数の発表

3 月 13 日 (日) 14 時 30 分以降

6. 取材要領

(1) 広報担当者 教育研究支援部長 桑原 清文

(2) 取 材

(ア) 入構の際には必ず報道機関の腕章等を付けてください。

① 集合日時・場所

島根県立大学本部棟 1F 玄関ロビー 平成 23 年 3 月 12 日 9 時 50 分

② 取材時間 10 時 00 分から 10 時 10 分まで (時間厳守でお願いします)

③ 取材用試験室 **面接控室** (講義研究棟 1F 大講義室 1)

(イ) 取材上の注意事項

① 受験者に動揺を与えないよう注意してください。

② 受験者が特定できるような撮影は、避けてください。(特に受験生の前方からの撮影は御遠慮ください。)

③ 取材用試験室以外への立ち入りは、原則として認めません。

(ウ) 不測の事態発生時の取材

広報担当者の了解のない限り、試験場には立ち入らないでください。

平成 23 年 3 月 9 日
 島根県立大学短期大学部
 松江キャンパス教務学生課
 担当：吾郷，水凌
 電話：0852-20-0216

平成 22 年度学生表彰(島根県立大学短期大学部学長賞) [松江キャンパス] について

平成 22 年度島根県立大学短期大学部学長賞を以下のとおり授与します。

本学の学生が、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の範となる行動を行い、又は優秀な成果を挙げた場合等に「島根県立大学短期大学部学長賞」を授与し、表彰を行います。

1. 表彰の部門及び選考の対象

- (1) 学術部門 公表された学術研究成果
- (2) 芸術部門 文学、美術、音楽、演劇等の分野において発表された作品
- (3) スポーツ部門 公的な大会における上位入賞その他これに準ずる場合
- (4) 文化活動部門 本学及び学外における課外文化活動の成果発表、展示等
- (5) 社会活動部門 ボランティア活動、人命救助その他の社会の範となる活動を行った場合

2. 表彰件数 5 件 (受賞者 個人 2 名、団体 3 組)

- (1) 学術部門 ^{しおいり} 汐入すみれ 健康栄養学科 2 年

【功績等】島根県牛乳普及協会主催の第30回牛乳・乳製品料理コンクールにおいて、「あごクリームコロケのライスバーガー」を製作し、おいしさや手軽さに加えて地域性で高評価を受け、最優秀賞(県知事賞を受賞した。

- (2) スポーツ部門 ^{もりがみしほ} 森上志保 保育学科 2 年

【功績等】平成22年11月28日に開催された、松江市体操連盟主催の第35回松江市民体操デーにおいて、体操競技一般の部女子個人総合1位(優勝)、種目別 ゆか、跳馬の2種目において第1位を獲得した。

- (3) 社会活動部門

[^{たかはししほ} 高橋志帆 ^{おむらまさふみ} 小村将史 ^{まつもちえ} 松本智枝 ^{あがわゆい} 阿川結依 ^{かきもとなつみ} 柿本菜津美 ^{おおたにさや} 大谷早耶 保育学科 2 年]

【功績等】平成23年1月9日に松江市くにびきメッセで開催された平成23年松江市成人式および出雲市民会館で開催された平成23年出雲市成人式において実行委員を務め、多くの来賓や参加者を迎えての式典を成功させた。

- (4) 文化活動部門 学生図書委員会 (2 年生委員)

【功績等】松江キャンパス図書館において平成22年度に設置した「学生図書委員会」では、5月発足当初より活発な活動を継続的に行い、図書館の整備・発展に大きく貢献した。特に2年生委員は平成21年度後期より試行的な活動を行い、委員会における指導的な役割を果たしてきた。

- (5) スポーツ部門 バレーボール部

【功績等】平成 22 年度春のバレーボールリーグ戦において、チャレンジリーグで優勝し、2 部との入替戦にも勝利して 2 部に昇格した。秋リーグでは 2 部リーグにおいて準優勝であった。

また、平成22年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会島根県ラウンドで優勝し、都道府県代表(島根県)として同大会中国ブロックラウンドに出場した。

3. 表彰式について

平成 22 年度卒業式において行う。

日時：平成 23 年 3 月 17 日 (木) 場所：松江キャンパス体育館

4. 問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150

電子メール：gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp

平成 23 年 3 月 9 日
 島根県立大学短期大学部
 松江キャンパス教務学生課
 担当：吾郷，水凌
 電話：0852-20-0216

島根県立大学短期大学部(松江キャンパス)

平成 23 年度前期科目等履修生・聴講生の出願・選考について

科目等履修生は、一般の学生と同じ講義を受講し、履修科目の試験に合格すると単位を取得できる制度です。

聴講生は、一般の学生と同じ講義を受講することができ、単位認定の必要がない方や教養を深めたい方に適した制度です。

1. 出願期間 平成 23 年 2 月 14 日(月)～平成 23 年 2 月 18 日(金)

2. 募集人員 各科目若干名

3. 出願資格 次のいずれかに該当する者

【科目等履修生】

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

【聴講生】

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 高等学校卒業程度の学力を有する者

3. 選考方法 科目等履修生 書類選考及び面接試験
 聴講生 書類選考(応募者多数の場合は抽選による)

4. 面接試験(科目等履修生)実施日 平成 23 年 2 月 24 日(木)

5. 出願者数 科目等履修生 3 名 聴講生 1 名

6. 合格者数 科目等履修生 3 名 聴講生 1 名

7. 問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部松江キャンパス教務学生課

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150

電子メール：gakumu@matsue.u-shimane.ac.jp

8. 過去 3 年分の履修生・聴講生の入学状況

	科目等履修生		聴講生	
	前期	後期	前期	後期
平成 20 年度	—	—	1 名	2 名
平成 21 年度	—	—	4 名	4 名
平成 22 年度	—	—	3 名	3 名

平成22年度 卒業証書・学位記授与式日程

島根県立大学短期大学部
(松江キャンパス)

【月 日】 平成23年3月17日(木)

【場 所】 本学松江キャンパス 体育館

【日 程】 9:30 受付開始

10:10 卒業生入場終了

10:25 教職員入場終了

10:30 来賓入場

10:30 開 式

〔式 次 第〕

開 式 の 辞
卒業証書・学位記授与
学 長 式 辞
来 賓 祝 辞
学 長 賞 授 与
表 彰 状 伝 達
卒 業 生 謝 辞
ほたるの光斉唱
閉 式 の 辞

11:30 閉 式(予定)

平成23年度入学式日程

島根県立大学短期大学部

【月 日】 平成23年4月4日（月）

【場 所】 くにびきメッセ 大展示場

【日 程】 9：00 受付開始

9：40 入学生入場終了

9：55 教職員入場終了

9：59 来賓入場

10：00 開 式

〔式 次 第〕

開 式 の 辞
入 学 許 可 宣 言
入 学 生 宣 誓
学 長 式 辞
来 賓 祝 辞
来 賓 紹 介
祝 電 披 露
閉 式 の 辞

11：00 閉 式（予定）

平成 23 年 3 月 9 日
島根県立大学短期大学部
出雲キャンパス教務学生課
担当：小林
電話：0852-20-0216

平成 22 年度学生表彰(島根県立大学短期大学部学長賞) [出雲キャンパス] について

平成 22 年度島根県立大学短期大学部学長賞を以下のとおり授与します。

本学の学生が、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の範となる行動を行い、又は優秀な成果を挙げた場合等に「島根県立大学短期大学部学長賞」を授与し、表彰を行います。

1. 表彰の部門及び選考の対象

社会活動部門 ボランティア活動、人命救助その他の社会の範となる活動を行った場合

2. 表彰件数 2 件 (受賞者 団体 2 組)

2 件(2 団体)とも社会活動部門の表彰である。

(1) 「安心生活応援隊」(看護学科 2 年次生野津朱里など 2 年次生 9 名)

【功績等】

2010 年 5 月から独居認知症高齢者の外出時の見守りや傾聴のボランティア活動を行っている。この活動は、住み慣れた地域で暮らしたいという独居認知症高齢者の気持ちを尊重する成年後見人の働きを助けるもので、認知症の進行とともに記憶力や判断力が低下し独居の維持が難しくなりつつある現状では、この学生ボランティアによる活動の果たす役割は大きい。

(2) がんを考える学生の会「てんしんはん」(看護学科 2 年次生矢田明子など 1・2 年次生 15 名)

【功績等】

乳がん検診率が全国最下位であるなど島根県のがん検診率が低いという背景をもとに、乳がんを中心とした検診啓発活動を行う学生のボランティア団体である。

がん啓発サポーター、保育園保護者会などと連携を図りながら活動を継続中であり、行政からも期待されている。新聞やテレビ等メディアでも取り上げられ、県外のがん団体からの問い合わせもある。

この活動は、看護を学ぶ学生として医療に関わる問題発見や対処に関わり、関係する人々・機関との連携を図りながら地域社会に貢献する有意義な活動である。

3. 表彰式について

平成 22 年度卒業式・修了式に併せて行う。

日時：平成 23 年 3 月 10 日 (木) 場所：出雲キャンパス体育館

4. 問い合わせ先

所属 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス教務学生課

電話：0853-20-0200 FAX：0853-20-0201

電子メール：kyomu@izm.u-shimane.ac.jp

平成 2 2 年度の島根県立大学短期大学部看護学科卒業証書授与式及び専攻科修了証書授与式を、下記のとおり挙行政いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 2 3 年 3 月 1 0 日(木) 午前 10:30～11:50
場 所 島根県立大学短期大学部 出雲キャンパス 体育館
式次第

- (1) 開式の辞
- (2) 島根県立大学歌「鳥とともに」 斉唱
- (3) 卒業証書授与
- (4) 修了証書授与
- (5) 学長式辞
- (6) 来賓祝辞
- (7) 卒業生・修了生謝辞
- (8) 旅立ちのうた「旅立ちの日に」
- (9) 閉式の辞

〈参考〉

平成 22 年度看護学科卒業生数	80 名
〃 専攻科地域看護学専攻修了者数	27 名
〃 〃 助産学専攻修了者数	15 名
計	122 名

島根県立大学短期大学部出雲キャンパス
事務室 稲垣、小林
T E L (0853) 20-0200